

わたしの周りで起きている 不思議な出来事

子供のためのコロナウイルスのパンデミックに関するソーシャルストーリー



By [Dr. Shu-Chen Jenny Yen](#)
Japanese Translated by Dr. Sandy Baba

はじめに

この本は、3～8歳の子供がコロナウイルスのパンデミックを理解できるよう親、保護者、及び教育者を対象にしています。

今回の事象は子供にとっても恐い体験であり、なぜ彼らが屋内に留まる必要があるのか、または世界で何が起きているのか理解できないかもしれません。

保育者が幼い子供たちと接する最善の方法には、対象となる子供の年齢に応じた情報の共有、安全の確保、そしてウイルスと戦うために働いている人々について学ぶことがあります。

わたしの周りで起きている
不思議な出来事

最近、学校へ通ったり、公園や友達の家遊びに行くことが出来ません。

お父さん、お母さんは仕事に行っていないようだし、おばあちゃんもお買い物に行っていないみたい。お外も誰もいません。

みんな何処にいるのかな？



テレビの中の人達全員がマスクを着けています。

お医者さんと看護師さんたちは頭からつま先まで覆った変なものを着ています



ママ、周りで風邪を引いた人はいる？

お外は病気なの？なんでみんな悲しそうなの？

なんで怒った人がたくさんいるの？

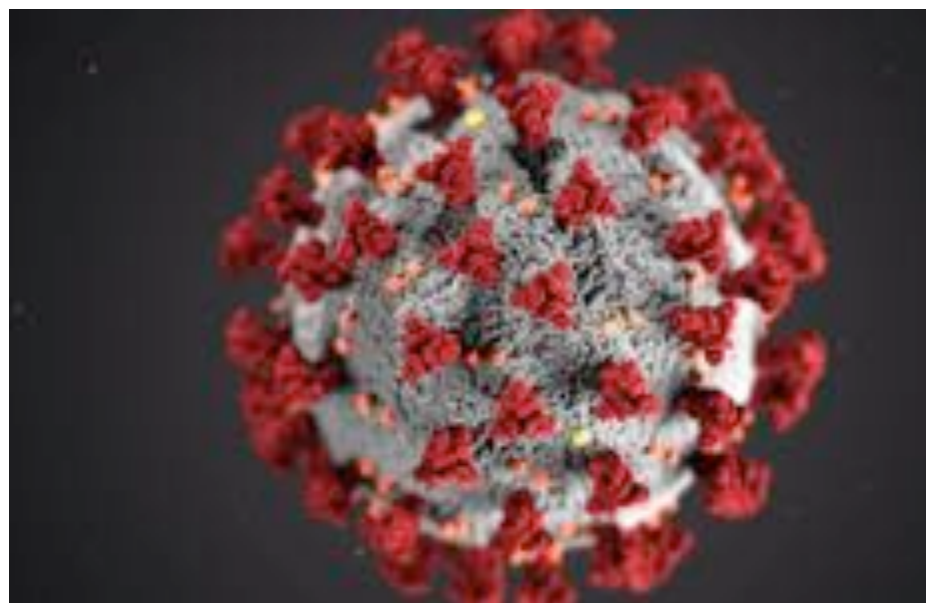
みんなから笑顔がなくなったみたい。



そうね、周りは大変みたいよ

病気をうつすCOVID-19
という新しいウイルスが
世界中であつという間に
広がっているのよ。

残念だけど、周りでもこの
ウイルスで病気になっ
ているのよ。



ママ、どうしてお医者さんに行って注射したり、お薬を飲んだりしないの？



ええとね、今たくさんの方が病気になっているの。

お医者さんと看護師さんみんなで朝から晩までずっと頑張っているけど、それでもみんなを治してあげることが出来ないのよ。

科学者さんがウイルスをとめることのできる注射を作ろうとしているのだけど、時間がかかるのよ。



ママ、わたしも
病気になっちゃうの？



ええ、みんな病気になっ
ちゃうかもね

でもお母さんは病気から
守る方法を知っているの
よ！

「わあすごい、どうする
の？教えて、教えて...」

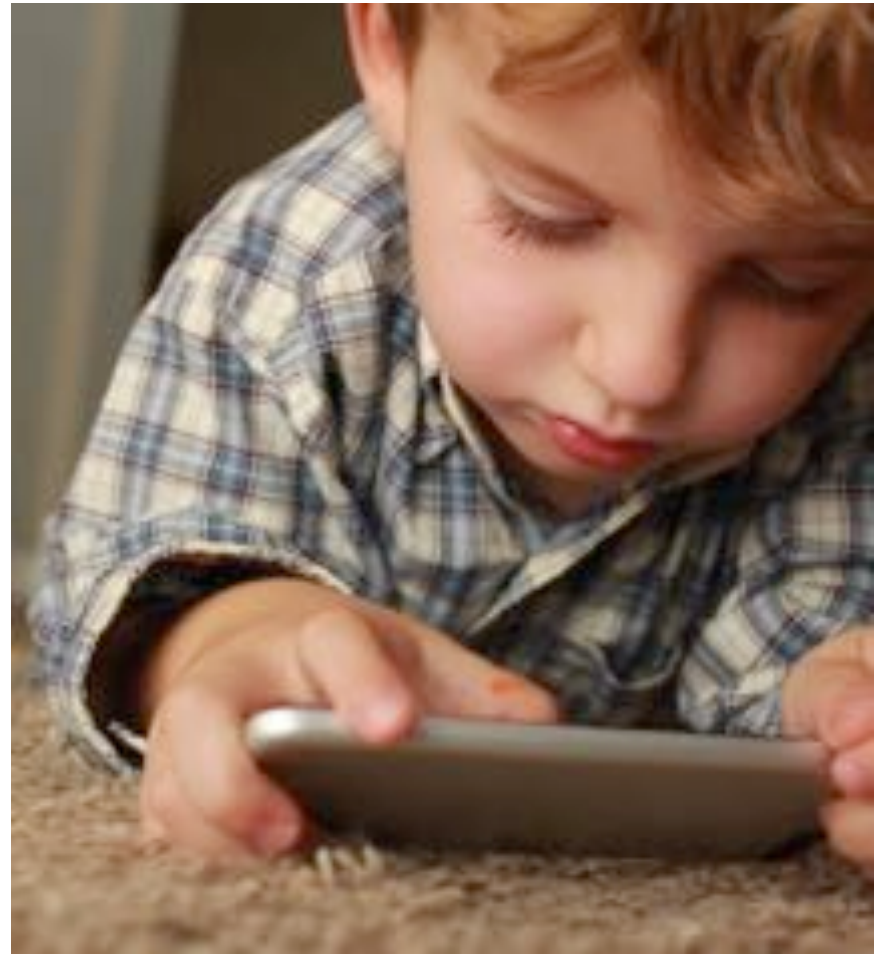


「社会的距離の確保」をとってみましょう

この言葉の意味は？

気分が悪いときみたいに学校へ行かないで家でじっとしていきましょう、という事ね。

みんなおうちにいるので、ウイルスから病気をもらわないし、他の人たちに会うこともないからウイルスをうつすことも、もらうこともないのよ。



お外に行かなければなら
ないときは、病気にみえ
る人から離れましょう。

物に触った後、お顔、お
口やおめめに触れないよ
うにしましょう。

石鹸と温水で**20秒以上**手
を洗いましょう。



「わかった、そうする。それで大丈夫？」

「まあ、心配しなくていいのよ！みんなが互いに離れていれば、ウイルスは人から人へと広がることはないの。」

それに、ママ、パパ、おじいちゃん、おばあちゃんたちがあなたにウイルスが届かないよう頑張るから！」



それに、知ってる？

科学者さんは、子供の方がウイルスをやっつけちゃう力が強いことを見つけたの！

「うわー、じゃあわたしもウイルスに勝てるね！」



でも、人混みに行っちゃ
いけないってことはお友
達と遊べないってこと？



いいえ、遊んでもいいのよ！

お友達と電話したり、
チャットやメール、
FaceTimeできるじゃない。

映画やビデオと一緒にオンラインで見ることもできるわね！



ママ、お友達とお外
に遊びに行くのには
どのくらい待たな
きゃダメ？

ウイルスはいつなく
なるの？

たくさんの人が亡く
なっちゃうの？

ごめんね、わたしに
もわからないわ。



でもね、お医者さん
や看護師さんたちは
もう何日もお家に帰
らないで子供たちにも
会えないけれど、
それでも一生懸命頑
張っているの。そし
て病気にかかってし
まった人たちを諦め
ないで治療している
のよ。



お医者さんや看護師さん
たちの子供たち寂しくな
いのかな？



そうね、あなたみたいに
毎日ママ、パパに会えな
いからとっても寂しい思
いをしているでしょう。
でも、勇気を持ってウイ
ルスと戦って人々の命を
救ってるママ、パパを
かっこよく思うでしょう
ね！



わー、すごいね！

私たちのヒーローだね！



ウイルスと戦っているヒーローはたくさんいるのよ。

科学者さんはウイルスをやっつける注射を作っているし、

自分で食べ物を買に行けない人々に食料を届けている人たちもいるの。



テレビ、新聞やオンラインで役に立つことを届けてくれる記者の人たち。

みんなの安全を守るためにたくさんの人たちが一生懸命働いているの！



うわー、みんなすごいんだね！



ママとパパはお金を寄付して、お医者さんや看護師さんたちが患者さんを安全に治療するのに着けるマスク、手袋、医療スーツなど購入できるようお金を寄付しているのよ。



わたしも何かお手伝
いしたい。

何ができるかな？



頑張っている人たちの絵
を描いたり、お手紙を書
くのはどうかな？

わたしの おもちゃや絵
本を他の子供たちを貸し
てもいいよ。



それいいわね、本当にいい子ね！

助けが必要な子供たちに
手を貸してあげましょう！



世界中の人たちが一緒になって戦っているの！

「この病気に勝つには、健康を保ってウイルスを広めないことが一番の方法ね！」



「わかった、えっとお手を洗って、おうちにいて、オンラインで遊ぶね！

おうちにいれば病院に行かないですむし、お医者さんと看護師さんたちが病気の人を診てあげられるね」



「人混みを避けて」、みんなでウイルスと戦う手助けになろう。

「わかったわ、続きはFaceTimeで話そうね、ママ！」



親御さんへの注意

2019年のCOVID-19の発生以来、世界中の幼児はコロナウイルスによるトラウマ（ロックダウンなど）を経験したか、メディアを介してウイルスに関する恐ろしい画像にさらされた可能性があります。そして、子供たちが「社会的距離の確保」をとっている理由、及びなぜ友達と遊ぶことができないのか理解するのは非常に難しいのが現状です。

この本は、1) 子供たちが安全であると安心させる、2) 医師や他の人々が行う積極的な行動に子供の注意を向けさせる、3) 子供を支援行為に関与させる、4) 「社会的距離の確保」の重要性を理解させることを目指しています。

親御さんへの注意

子供たちは怖いことが起こると自分の安全を守ってくれる親などに頼ります。このような困難な時ですから、親は子供たちにより愛情を示す必要があります。「社会的距離の確保」をとっている間、子供たちが友人たちと繋がりを続けるのをソーシャルメディア利用し支援したいと考えています。

また、私たちは子供たちが多くのヒーローを尊敬し、このパンデミックとの戦いに貢献できるようにしたいと考えています！結局のところは、「自分を大切にし、ウイルスを広めない」ことにつきます！

-

Note about the author

Dr. Shu-Chen “Jenny” Yen is an associate professor in the Department of Child and Adolescent Studies, California State University, Fullerton. She created and shared her first social story with the public for the 911 terrorist attacks by the al-Qaeda on the United States on September 11, 2001. To date, she has created several social stories for young victims who were impacted by typhoons, earthquakes, hurricanes in Taiwan, China, the Philippines, Puerto Rico, and the USA. With trauma-informed care practice in mind, she hopes this social story can help children living in the impacted areas find love and courage. She was the 2018 P.E.A.C.E Award recipient from the Peace Educators Allied for Children Everywhere (P.E.A.C.E.) She is nominated by the Educators for Peaceful Classrooms and Communities (EPCC) for the 2020 Honor an Early Childhood Educator Award, California Association for the Education of Young Children (CAAEYC).

Acknowledgement

I would like to thank the following people for providing feedback on the story: Dr. Kathy Thornburg, Dr. Sandy Baba, Dr. Feiyan Chen, Dr. Cary Larson-McKay, Tom Pfaff, and Tina Pfaff. I also would like to thank the kids who helped test the story: Austen Liu, Allison Yu, Caitlyn Yu, Calvin Pfaff, Simon Pfaff, and Luke Pfaff. A huge thank you to my daughter, Angela Lee, for her careful edit of the story; my son, Eric Lee, for his detailed proof-reading; and my husband, Michael Lee, for starving so I could finish this story. Lastly, I would like to thank unsplash.com for all images used.

NAEYC Asian Interest Forum would like to give our heartfelt thanks to Dr. Sandy Baba's family for their support in translating this book into Japanese.

Copyright ©2020 by Shu-Chen Yen. All rights reserved. This book or any portion may not be reproduced, relabeled, or used in any commercial manner whatsoever without the express written permission of the author. Permission is not required for personal or professional use (e.g., classroom setting). For more information, please contact Shu-Chen Yen at syen@fullerton.edu.